

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第79期第2四半期連結累計期間(2022年11月21日から2023年5月20日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

●当第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、世界的な物価高と金融引き締めにより緩やかに減速いたしました。日本における経済活動の正常化や中国でのゼロコロナ政策の解除、世界的なインフレ鈍化傾向により、景気回復への期待は高まっていますが、ウクライナ危機の長期化や米欧の利上げによる金融不安などが、経済への悪影響として懸念されます。

このような経営環境の中で、当社グループは2022年11月21日より、暮らしの課題、社会の課題を解決しながら持続的に成長するソリューションブランドへ着実に移行「シフト」するため、新たな中期3か年計画『SHIFT』をスタートし、具体的施策の実行に取り組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内では炊飯ジャーなどの調理家電製品が前年実績を下回りましたが、海外では円安の影響で海外売上高の円換算額が増加したこともあり、45,447百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

利益については、原材料価格の上昇や円安による輸入コストの増加に対する価格転嫁を進めましたが、販売費及び一般管理費が増加したこともあり、営業利益は4,476百万円(前年同期比7.6%減)となりました。経常利益は5,340百万円(同4.5%減)となり、グループ内の各社の利益構成比が変動し税負担率が減少したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,732百万円(同1.6%増)となりました。

■2023年11月期業績予想(為替レート1ドル=140円)

	前回予想	今回予想
売上高	835億円	840億円(前回予想比 0.6%増)
営業利益	39億円	50億円(前回予想比 28.2%増)
経常利益	43億円	61億円(前回予想比 41.9%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	30億円	42.5億円(前回予想比 41.7%増)

●今後の取り組みについて

中期3か年計画『SHIFT』の初年度にあたる当期は、暮らしの課題、社会の課題を解決しながら持続的に成長するソリューションブランドを目指して、具体的施策の実行に取り組んでおります。具体的には、2022年9月に発売を開始したオープンレンジの販売拡大、「象印食堂大阪本店」に続く全国2店舗目「象印食堂東京店」の出店、電気ポットを通じてそっと見守る安否確認サービス「みまもりほっとライン」のリニューアルなど新規領域の拡大と既存領域の拡大に取り組まれました。また、その他にも海外事業におけるECチャネルの強化、業務変革DXの推進、象印ダイレクトやオーナーサービスの拡充など各施策に取り組んでおります。

今後につきましては、原材料価格の高騰や為替の影響による調達コストの上昇などが懸念されますが、主力の調理家電製品などで新製品を投入し、売上の維持拡大を図ります。業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績が当初予想に対して堅調に推移している状況等をふまえ、通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。厳しい経営環境ではございますが、株主の皆様におかれましては、今後ともますますあたたかいご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

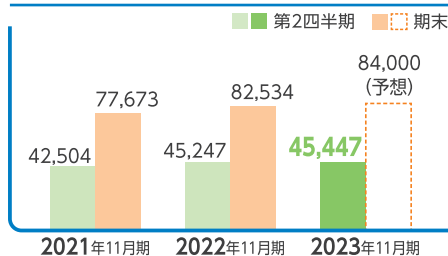
代表取締役
社長執行役員

市川 典男

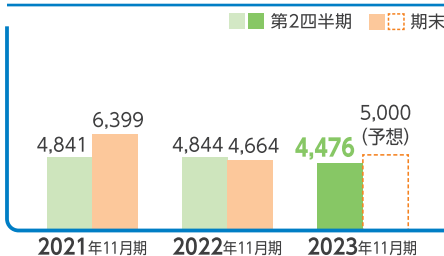


連結財務ハイライト

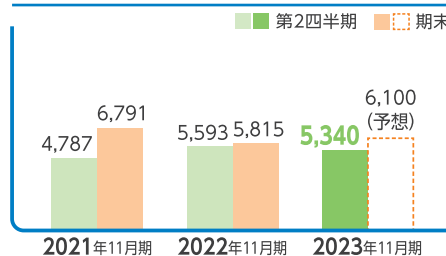
売上高 (単位:百万円)



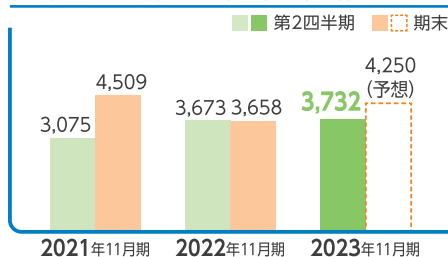
営業利益 (単位:百万円)



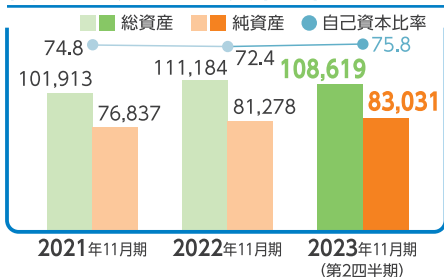
経常利益 (単位:百万円)



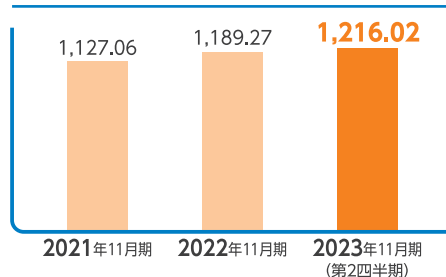
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産・純資産/自己資本比率 (単位:百万円:%)



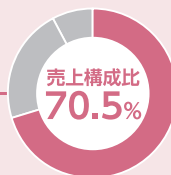
BPS[1株当たり純資産] (単位:円)



製品区分別業績の概況

調理家電製品

売上高 **320億57百万円** 前期比 **2.5%減** ↓



主な製品



圧力IH炊飯ジャー
(NW-PV型)

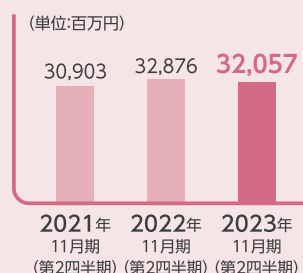


オープンレンジ
(ES-GT型)

国内ではオープンレンジは売上増加に寄与したものの、国内外で売上が減少

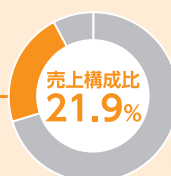
- [国内]** ●炊飯ジャーは、マイコンおよび圧力IH炊飯ジャーが苦戦したことにより、前年実績を下回りました。
- 電気ケトルは好調に推移しました。
- 電気調理器具では、オープンレンジ「EVERINO (エブリノ)」は売上増加に寄与したものの、市場でも減少が続くホットプレートやオーブントースターなどの販売が低調で、前年実績を下回りました。

- [海外]** ●北米と東南アジアで炊飯ジャーは好調に推移しましたが、電気ポットや電気調理器具が低調であったため、全体では前年実績を下回りました。



リビング製品

売上高 **99億64百万円** 前期比 **6.8%増** ↗



主な製品



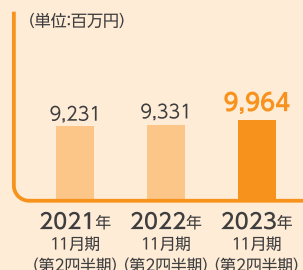
ステンレスマグ
(SM-VA型)



ステンレスクールボトル
(SD-HA型)

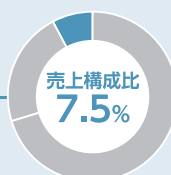
国内外でステンレスボトルなどのステンレス製品が好調に推移

- [国内]** ●ステンレスボトルやステンレスポット、ステンレススープジャーが好調に推移し、前年実績を上回りました。
- [海外]** ●中国の販売は低調でしたが、台湾や東南アジア、韓国でステンレス製品が好調に推移し、前年実績を上回りました。



生活家電・その他製品

売上高 **34億25百万円** 前期比 **12.7%増** ↗



主な製品



加湿器
(EE-DC型)

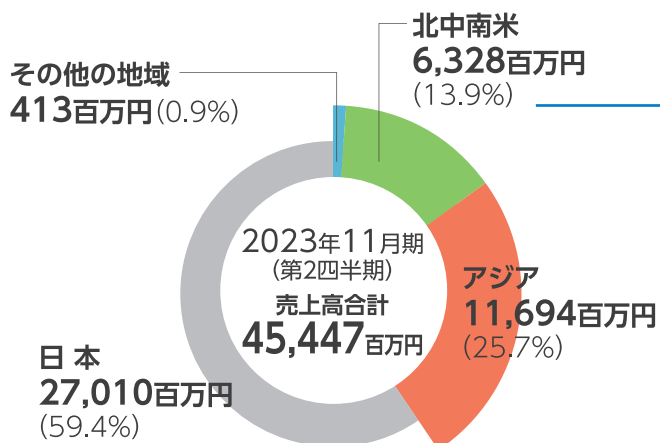
国内外で加湿器が好調

- [国内]** ●加湿器が好調に推移し前年実績を上回りました。
- その他製品は、前年実績を上回りました。

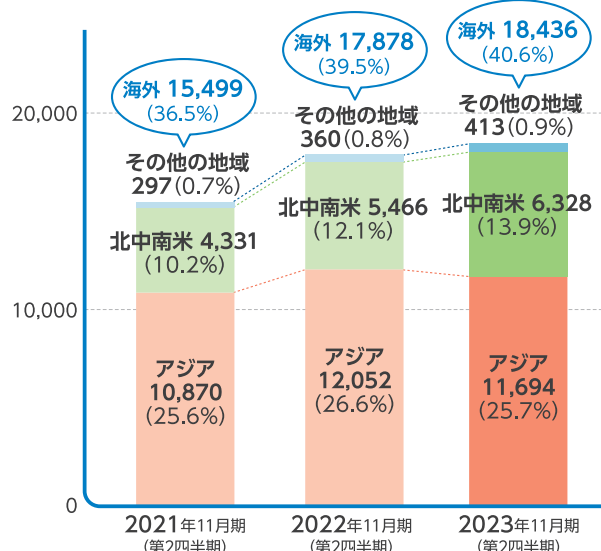


地域別業績の概況

■2023年11月期(第2四半期)
地域別売上高構成比



■海外売上高 / 海外売上高比率の推移 (単位:百万円)



トピックス



圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』(NW-FB型)新発売

当社は、圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』(NW-FB型)を発売いたしました。新製品では、6つの底IHヒーターで縦横の激しく複雑な対流を生み出す「3DローテーションIH構造」を引き続き搭載し、釜内の温度を正確に検知する蒸気センサーの精度向上によって、更なる大火力での炊飯を実現しました。

使用性の向上を目的とした「お気に入り登録」、健康意識の高まりにも対応した「雑穀米炊き分け3コース」を新たに搭載しております。



<https://www.zojirushi.co.jp/syohin/rice/ricecooker/nw-fb/#container>



「みまもりほっとライン」をリニューアル

当社は、遠く離れて暮らす親の毎日を電気ポットを通じてそっと見守る安否確認サービス「みまもりほっとライン」をリニューアルし、2023年5月10日よりサービスを開始いたしました。「みまもりほっとライン」は2001年3月にサービスを開始し、20年以上経過した現在でも、“親子の程よい距離感が保てるコミュニケーションツール”としてご利用いただいております。このたびのリニューアルでは、価格は据え置きとしながら、新機能を搭載し、見守る側・見守られる側にとってさらに便利なサービスを提供いたします。

親子の程よい距離感
ポットが自然な
コミュニケーションの
きっかけに



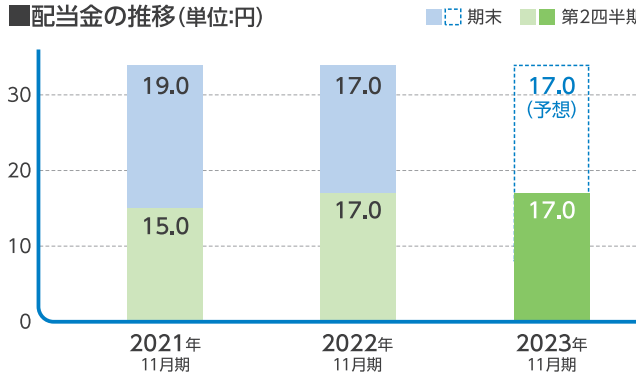
https://www.zojirushi.co.jp/syohin/pot_kettle/mimamori/index.html

配当について

当社は、株主に対する利益還元を重要政策の一つであると考えており、企業基盤の強化ならびに将来の事業展開のための内部留保や収益見直しなどを総合的に勘案しながら、連結配当性向50%以上を目安として安定的な配当の維持に努めていく所存です。また、自己株式取得を含め、2023-2025年の3カ年累計の総還元性向を100%以上とする方針であります。

この基本方針に基づき、当期の中間配当は1株当たり17.0円を実施いたしました。また期末配当については、1株当たり17.0円を予定し、年間配当額は1株当たり34.0円を予定しております。

■配当金の推移(単位:円)



株主優待制度のご案内

◆株主優待内容

当社商品の優待価格および優待特別割引による販売

※優待特別割引については、右の表をご確認ください。

◆株主優待対象基準

11月20日現在の当社株主名簿に記載または記録された単元株(100株)以上の株式を保有されている株主様

◆株主優待のご利用方法

年1回、毎年2月に対象株主様へ優待販売のご案内および申込はがきを送付いたします。優待販売のご案内をご覧ください、ご希望の商品をお申してください。

■優待特別割引

ご所有株式数	優待特別割引額
100株以上 500株未満	ご購入金額合計より 1,000円割引
500株以上 1,000株未満	ご購入金額合計より 2,000円割引
1,000株以上	ご購入金額合計より 4,000円割引

株主メモ

事業年度	毎年11月21日から翌年11月20日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	■定時株主総会 11月20日 ■剰余金の配当 期末 11月20日 中間 5月20日
1単元の株式数	100株
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.zojirushi.co.jp/ir/stock_info/public_notice.html
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

株主アンケートご協力をお願い

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきますため、WEBアンケートを実施いたします。右記URLにアクセスいただき、表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

所要時間は5分程度です。

アンケート実施期間：2023年8月25日(金)まで

〈アクセス方法〉



パソコンから 下記のURLからアクセスいただけます。



スマートフォン・携帯電話から

2次元コード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右の2次元コードからアンケート画面へアクセスいただけます。

※携帯電話の機種により、使用できない場合もございます。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 TEL06-6356-2311

〈ホームページのご案内〉 <https://www.zojirushi.co.jp>

企業情報や製品情報など象印マホービンの最新情報をご覧ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

証券コード:7965